

# 人間関係講座（グループ）第122回

## グループの中での人間関係の理解のために

担当者	楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科 教授） 大塚 弥生（南山大学教職センター 准教授）
概要	<p>この講座では、「体験学習」という方法を用いて、グループの中で起こる様々な事柄を捉える視点を養うことを目指します。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、様々なグループに身をおいています。そのなかでは、どのようなことが起こっているのでしょうか。講座では、取り組んでいる事柄（コンテンツ）だけではなく、人と課題の関わりや人と人との関わり（プロセス）について見ていく枠組みをご紹介します。</p> <p>この講座のねらいは、以下の2つの分野です。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向け、グループプロセスに気づく力を養う</li><li>②グループの中での自分や他者の特徴に気づく</li></ul> <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、グループに関する理論の小講義によって学習を進めていきます。実際にグループによる実習に参加し、その過程を丁寧にふりかえり、メンバーとわかちあうことを通して、起こっていることに目を向けていきます。そのなかでは、グループの中での自分や他者の特徴についても理解が深まることを期待されます。グループの人間関係について関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。</p> <p>【プログラムの内容（予定）】</p> <p>小講義「グループプロセスとは？」 「グループでの意思決定」 「リーダーシップ」 など</p> <p>グループでの問題解決実習</p> <p>グループでのコンセンサス実習</p> <p>グループでの制作型実習</p>
日程	2023年7月1日(土)10:00~18:00 7月2日(日)9:00~17:00
定員	36名
会場	南山大学 D棟 D51教室
受講料	15,400円〈税込〉
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 大塚 弥生 記</p> <p>7月1日・2日に、第122回人間関係講座（グループ）が行われました。対面でのプログラムでしたが、日本の各地から25名の方がご参加くださいました。この講座では、「グループプロセスに目を向け、気づき、働きかける力を養う」ことがねらいとなっています。書いてしまうとたった一行の言葉ですが、ここにはたくさんの要素が含まれています。</p> <p>まず、「プロセス」とは何かを理解することが必要となります。日常生活では、仕事の成果や話の内容などの「コンテンツ」に注目が集まりがちですし、重要視されてもいます。この講座では、自分にとってのその当たり前な視点や感覚を持ちつつ、人と人との相互に影響しあって「コンテンツ」を支え、左右する「プロセス」があることに目を向けていきます。</p> <p>次に、その「プロセス」がどのように起こっているのかについて、実際の「実習」を通して「気づいていく」力が求められますが、この作業は、一人で行うことには限界があります。ここでは、同じグループのメンバーの捉え方を持ち寄ることで他者の視点を知り、グループのプロセスを多角的に捉えるとともに、自分の気づきの傾向や特徴に気づいていきます。メンバーの多様性が、気づきの力を育ててくれると言えるでしょう。</p> <p>さらに、「気づいたことに働きかけるかどうか」の判断や選択の過程があり、働きかけるとしたら「どのように行うか」の工夫が必要とされます。</p> <p>二日間を通して、参加者の方々はこの難題にチャレンジしておられました。何かに気づき、何かについての理解が深まることは、自分の成長を実感させてくれるものです。その一方で、できていなかったことや、わからないでいることに気づく、ほろ苦い体験となるときもあります。その満足感やほろ苦さは、自分の中で何を指し、どのような姿勢で他者と共にいようとするのか、どんな世界を作っていきたいのかということを示してくれるものではないでしょうか。この講座が、これらの難題にチャレンジできる、安心・安全な場を提供できていたら嬉しいと思います。</p>